



TOKYO NEWS FLASH

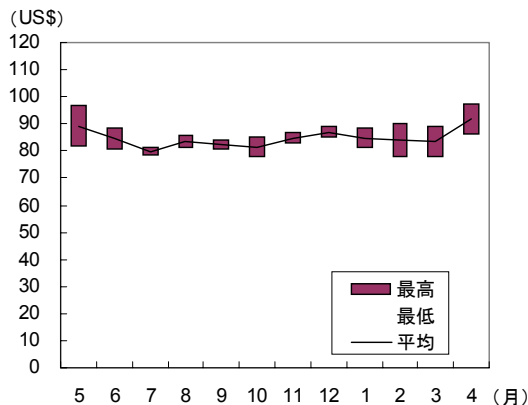
米国食肉輸出連合会 (USMEF)

Volume 238 April 15, 2003

米国食肉市場ニュース

～ 牛肉 ～

去勢牛の 100 ポンド (約 45kg) 当たりの価格
(オクラホマシティー・体重 600～700 ポンド)



資料 : Cattle-Glenn Grimes & Ron Plain

- 注 :
1. 2002年5月～2003年4月までのデータ
 2. 該当月の第1週のデータより作成 (2002年9月および2003年1月を除く)
 3. 2002年9・11月はイヤリングビーフ (若齢牛) による
 4. 2002年12月は体重650～700ポンドのイヤリングビーフ (若齢牛) による

牛肉市況 (3月31日～4月4日)

- **週間と畜頭数 :**
63万9,000頭 (前年比3.6%増)。
- **経産牛年間と畜頭数 (3月22日まで) :**
前年比9%増。内訳を見ると、乳用は同14%、肉用は同約5%、それぞれ増加している。7年連続で前年割れの後、急激に増加に転じているこの状況は、少なくともここ60～70年間あまり見られない現象である。乳用経産牛のと畜増は、牛乳価格の下落が主な要因と見られる。1月・2月の雄雌のと畜比率は、ここ10年間の平均値を上回っており、また、前年・前々年との比較でも大幅に増加している。
- **肥育牛の現金取引価格 :**
中西部では前週比1.00～1.50ドル高の79.00～80.00ドル、ハイプレーンズでは79.25～79.50ドルで取引。主要5地域では、生体で79.16ドル、枝肉で128.55ドルでそれぞれ取引。

- **牛肉価格 (100ポンド [約45kg] 当たり / 4月4日正午) :**
歩留まり等級3のチョイスは、130.09ドルで取引。チョイスとセレクト間の価格差は、9.35ドルと引き続き広がっていることから、肥育牛の出荷はますます順調であると見られる。

オクラホマシティーにおける去勢素牛の体重別、
100ポンド (約45kg) 当たりの価格 (US\$)

体重 (ポンド)	3月31日～4月4日
450～500	103.25～114.00
500～600	93.50～102.50
600～700	86.00～97.50
700～800	75.50～86.75
800～1000	70.50～77.75

(Cattle-Glenn Grimes & Ron Plain, 4/04/2003)

～ 豚肉 ～

豚肉市況 (3月31日～4月4日)

- **週間と畜頭数 :**
推定188万頭 (前年比1.0%増)。経産豚・未經産豚のと畜状況から、繁殖頭数の削減が続いていることがうかがえる。
- **生産高の動向 (『Hogs and Pigs』による) :**
過去3年の生産高伸び率は、鈍化傾向にある(下表)。枝肉平均重量が前年比1.31%減少していることが理由と見られる。

	生産高伸び率 (対前年)
2000年2月29日	5.47%
2001年2月28日	3.02%
2002年2月28日	2.73%
2003年2月28日	2.07%

● 生産者ネット価格

(100ポンド [約45kg] 当たり / 2002年) :

チェックオフ・データによると、定期市場での平均価格の3.74ドル高。高価格の裏には、リスク軽減型の出荷契約がある。家畜価格報告制度のデータによれば、独立系生産者が出荷契約の30%がリスク軽減型。この価格報告制度は、独立系生産者が出荷頭数の8割をカバーしている。

- **豚肉製品価格** (100 ポンド [約45kg] 当たり) :
ベリーは前週比 2 ドル高の 91.00 ドル。その他は軟調。
- **肉豚の現金取引価格** (100 ポンド [約45kg] 当たり) :
若干軟調。4 月 4 日午前の生体価格は、前週と変わらず、または前週比 1.50 ドル安。
- **MFA 電話競売における素豚価格**
(100 ポンド [約45kg] 当たり) :
前々週と変わらず、または若干高値で取引。
- **素豚価格** :
乳離れしたばかりの子豚は、ここ数週間で 20 ドル台前半に再値下がり。

主要市場における 100 ポンド (約 45kg)
当たりの最高価格 (US\$)

	4 月 4 日
ペオリア	31.00
セントポール	32.00
スーフォールズ	32.00
ミズーリ中央部	32.50

180 ポンド物 (約 81.5kg) の枝肉平均価格 (US\$)

	4 月 4 日
東部トウモロコシ地帯	44.93
西部トウモロコシ地帯	44.93
アイオワ・ミネソタ	45.03
全国	46.29

MFA 電話競売における素豚価格 (US\$)

体重 (ポンド)	4 月 4 日
40~50	83.00~97.50
50~60	76.00
70~80	80.00

(Cattle—Glenn Grimes & Ron Plain, 4/04/2003)

食品安全ニュース

米農務長官、食肉検査当局の改革案を提示

ベネマン農務長官は、「2003 年食品衛生サミット・博覧会」で講演し、その中で USDA の食肉・家禽肉検査当局の改革案を概説した。それによると、USDA では現在、食肉・家禽肉に異なる品質の肉が混入されたり、表示が偽装されたりしていると連邦機関が判断した場合、USDA への通知を義務づける等の施策を検討中であるという。

さらに、書面で通知後も改善されない場合、民事罰を課すことも視野に入れているという。また、HACCP 違反に基づく初期段階・即時の停止命令や差し止めの可能性についても検討される見込み。長官は、これらの案に固執せず、各方面と協力して食品衛生システムの強化、遵守奨励のためのさまざまな案を検討するとした。

USDA はさらに、既存の研修プログラムを強化するため、HACCP 検証を含む先端科学技術を組み込んだり、従業員に対する通信教育や講習会を行う計画。また、汚染防止戦略を開発・立証するための共同研究チームを編成中である。

この日発表された計画のほか、既に実行されている積極策は以下のとおり。

①食物衛生予算の大幅拡大。②病原性大腸菌 O157:H7 型の発生率低減を工場に義務付け。③ O157 の陽性サンプルが加工工場で見つかった際の、納入業者追跡システムの改良。④調理済み食肉・家禽肉中のリステリア菌を減少するための、リスクに基づく新しい命令の公布。また、商品汚染の危険性を低減するための環境試験の研究。⑤リステリア菌予防プロセス案の立案を目指して、科学的リスク・アセスメントを完了させること。⑥サルモネラ菌基準を満たさない工場に関する詳細な HACCP 調査の加速。⑦消費者保護担当官および検査要員の研修増加。

(U.S. Department of Agriculture, 3/19/2003)